

気候変動対策に関連する公開質問状

1. 気候変動に対応するあなたの政策は(複数選択可)

- ① CO2 排出削減 (削減目標:2030年までに46~50%削減(2013年度比)、2050年までに排出量実質ゼロ)
- ② プラスチックごみ削減 (削減目標:)
- ③ 消費電力量の削減 (削減目標:)
- ④ 再エネ電力へパワーシフト
- ⑤ 断熱対策のため住環境整備への補助(円)
- ⑥ 脱炭素にとりくんでいる企業への援助(円)
- ⑦ その他

⑧ 特にない

2. 1で答えた政策を実現するため、具体的にどのような行動をしますか

- ① CO2 の排出を削減し、2030年までに2013年度比で 46%削減、そして2050年までに実質ゼロを達成するために、再生可能エネルギーの最大限の導入や徹底した省エネの推進、ライフスタイルの転換促進等を進めていきます。
- ② プラスチックごみの削減に向けて、3R の推進、ワンウェイ(使い捨て)プラスチックの削減、再生プラスチックの利活用、マイクロプラスチック対策等に取り組みます。また、世界全体の海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて、途上国における海岸漂流・漂着ごみ処理への支援を行うとともに、国際条約の策定に貢献していきます。
- ③消費電力量の削減に向けて、中小企業の省エネ設備の導入支援や、家庭における省エネ・脱炭素型ライフスタイルへの転換を促す「グリーンライフ・ポイント」を推進します。
- ④再エネ電力へパワーシフトに向けて、地域における再エネ導入、蓄電池の普及、送電線の整備等を強力に推進します。
- ⑤断熱対策のための住環境整備に向けて、省エネ対策が進んでいない既存住宅の断熱リフォームへの支援を行います。
- ⑥脱炭素にとりくんでいる企業を支援するため、各種補助金(ものづくり、事業再構築、持続化補助金等)における「グリーン枠」を拡充します。

⑦(その他)CO2 排出抑制にも貢献する食品ロスの削減や生物多様性の保全等の推進、また気候変動の適応策としての熱中症対策の推進等に取り組みます。

3. 気候変動対策は

- ① 区レベルでは特に必要ない
- ② 国や都の方針に従って進める
- ③ 区レベルでもできることを行う

⇒2022年10月7日 参議院本会議代表質問 山口代表

「本年六月、さいたま市浦和美園地区へ行き、政府の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の採択を受けた住宅街区を視察しました。そこでは、各家庭で発電した再生可能エネルギーを地域内で共有し、効率よく利用しており、エネルギー自給率は六割を超えています。この街区には、先月、アメリカの環境保護局長官も視察に訪れるなど注目されており、このような先進的で質の高いモデルを全国に波及させるべきです」

4. 国や都と一緒にとりくむため、原発政策や温暖化対策などに関する提言・要求を行いますか

- ① 区政と連動するため積極的に行う
- ② 区民の声があれば行う
- ③ 必要を感じないので、行わない

足立区と区議会は、気候が地域を超えた非常事態であることの認識をすべての区民の皆様や事業者、団体の皆様と共有し、国や他自治体、企業とも連携を図りつつ、オール足立で 2050 年までに CO2 排出実質ゼロを目指すことを 2021 年 3 月 23 日に宣言しました。

「これからも公明党は、議会質問や提言などを通じて、脱炭素社会の実現に向けた取り組みをリードし、ゼロカーボンシティについても、区と都と国が連携して、包括的な支援制度の必要性を訴えるなど、自治体の取り組みが進むよう強力的に推進していきます」

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました

東京ほくと医療生活協同組合 気候アクションプロジェクト(T-CAP)